

多機関合同の映画上映 による認知症啓発活動

～みんなで、楽しく、役立つことを～

北海道千歳市

千歳病院認知症疾患医療センター 作田 直人

千歳市北区地域包括支援センター 吉田 肇



千歳市の概要

人口	96,711人	65歳以上人口	21,290人
高齢化率	22.0%	面積	594.5km ²
日常生活圏域数	5圏域	包括数	5カ所（委託5）
推進員数	2名（委託：精神保健福祉士1名、社会福祉士1名）		

- ・新千歳空港があり、北海道の「空の玄関口」として機能している。
- ・主要産業は新千歳空港の存在や支笏湖などの観光立地の関係からサービス業（産業別人口の約75%）、次いで製造業で製造品（出荷額道内4位）、大企業の工場が数多く存在している。
- ・人口の約25%が自衛隊員およびその関係者。
高齢化率が道内で最も低い。



(H29.10.1現在)



支笏湖エリア

支笏湖、オコタンベ湖、苔の洞門、巨木の森、野鳥の森、キャンプ場、恵庭岳、紋別岳、樽前山、風不死岳、支笏湖温泉、丸駒温泉などがあります。



空港・市街地エリア

新千歳空港、工業団地、自衛隊駐屯地、住宅地、商業施設、千歳科学技術大学などがあります。



農業地域エリア

観光牧場、観光農園、ファームレストラン、バレットの丘、ゴルフ場などがあります。



千歳市の認知症施策

いくつになっても自分らしく、元気で住み慣れた地域で支え合い、安心して暮らし続けることができる地域社会の実現



生きがいを持って生活できるまちづくり

いきいきと元気に生活できるまちづくり

安心して暮らせるまちづくり

- ①正しい知識の普及・啓発
- ②早期発見・早期対応の推進
- ③地域における見守りネットワークの推進



地域支援体制の推進

介護予防の推進

認知症施策の推進

高齢者の社会参加の推進

権利擁護の推進

実際の認知症施策の例

- ①住民・専門職への認知症啓発研修の企画・運営
- ①認知症サポーター養成講座およびフォローアップ研修
- ①GH絆の会、認知症疾患医療センター合同企画研修会
- ②認知症ケアパスの作成
- ②介護予防事業（道内では札幌市以外で唯一介護予防センターを設置）
- ②『公的機関・病院・施設・教育機関の枠を超えた介護・認知症予防ネットワーク』
- 認知症啓発における近隣市との連携

など

千歳市ならではの認知症サポーター養成講座

全国でも数少ない『自衛隊向け』！



市広報



千歳民報



北海道新聞



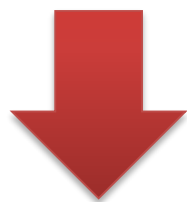
推進員の役割

千歳市ではH24年～、地域包括が順次増設

…H25年、北区地域包括支援センターを医療法人資生会に委託

千歳市：地域包括支援センター

北海道：認知症疾患医療センター



認知症地域支援推進員・認知症初期集中支援チームの委託



推進員① = 地域包括の社会福祉士・ケアマネジャー

推進員② = 認知症疾患医療センター・認知症初期集中支援チームの精神保健福祉士





活動報告

・ 2市合同認知症啓発事業（映画上映会）

平成29年11月5日実施

会場は千歳市

「千歳市認知症地域支援推進員」

「千歳認知症の人を支える家族の会（はまなすの会）」

「恵庭市認知症地域支援推進員」
の3者で主催

第1回千歳・恵庭認知症啓発事業 「認知症になっても安心まちづくりキャンペーン」

妻の病

— レビー小体型認知症 —

一人の医師と、認知症の日々を生きる妻との10年間に及ぶ“いのち”を巡る物語。

入場無料

「生きなきゃ...ふたりでよう頑張ったと思う。」
「うん、生きなきゃ。」

(ヒューマンドキュメンタリー映画)
伊勢 真一 演出作品

製作/いせフィルム <http://www.isefilm.com/>

2014年/カラー/1時間27分

平成29年**11月5日(日)**13:30~15:00 (13:00開場)

北ガス文化ホール 2階中ホール (千歳市北栄2丁目2-11)

H26頃

H28

H29

千歳推進員

町内会向
けの講座
など

全市民向
けの啓発

合
司
開
催

はまなすの会

映画上映

両市推進員・はまな
すの会代表2名の計6
名で実行委員を結成

家庭推進員

新規事業
の開発

月日	時間	内容	備考
8月	上旬～中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・DVDの使用申込 ・広告デザインの作成・使用許諾の確認 ・コミュニティ誌への記事掲載打診 	<ul style="list-style-type: none"> ・作田、吉田が担当
9月	上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報原稿の提出 ・ポスター等配布場所の選定 	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿は吉田が作成 ・自治体への連絡は各市推進員が担当
	下旬	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター等配布開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・各機関実行委員が担当
10月	上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ誌の記事掲載依頼(最終) 	<ul style="list-style-type: none"> ・作田、吉田が担当
	下旬	<ul style="list-style-type: none"> ・会場での上映機材の確認 ・当日の配布物など最終確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・機材の確認は作田、吉田が担当
11月5日	開催		

広報活動は、各メディアを活用！

2017年(平成29年)11月1日(水曜日) (第3報知特別版)

千歳、恵庭の認知症地域支援推進員とはまなすの会 病気に理解深めて

5日に映画「妻の病」



千歳、恵庭の認知症地域支援推進員とはまなすの会が、11月5日(日)に、千歳市北地区公民館で、映画「妻の病」の上映会を開催する。この日は、千歳市北地区公民館で、映画「妻の病」の上映会を開催する。この日は、千歳市北地区公民館で、映画「妻の病」の上映会を開催する。

北海道新聞

病の上映会から、北ガス文化センター ☎ 25・81800へ。

の病の上映会から、北ガス文化センター ☎ 25・81800へ。

の病の上映会から、北ガス文化センター ☎ 25・81800へ。

の病の上映会から、北ガス文化センター ☎ 25・81800へ。

の病の上映会から、北ガス文化センター ☎ 25・81800へ。

2017年10月27日(金) 千歳・恵庭エリアの生活情報紙「Chantol」 2017.10.27

ちやんと

毎週金曜日発行 発行/株式会社 chanto/chantol



歌って踊って飲んで

本のまち恵庭の図書館まつり

フェイスブック

ホーム サービス レビュー ショップ クーポン

千歳市認知症地域支援推進員

10月13日 19:28 北海道 恵庭市

千歳・恵庭認知症啓発事業「妻の病」上映会で、たくさんの方からお問合せいただいています！

て、あらためてお知らせです。

日：平成29年11月5日(日) 13:00開演

30開演

所：北ガス文化ホール中ホール(千歳市北栄目2-11)


金：無料！...続きを読む

FM77.8MHz

e-niwa



コミュニティFM「e-niwa」



妻の病

—レビィ小体型認知症—

一人の医師と、認知症の日々を生きる妻との10年間に及ぶ「いのち」を語る物語。

千歳民報

「ちやんと」

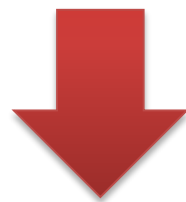
結果・・・



400名定員の会場に **700名** もの来場者が！
たくさんの方が認知症の実情を目にしてくれたが、
会場は大混乱に…

周知は大成功したが予想以上の反響で・・・
⇒開場前から人があふれる状況に！

定員や入場お断りなどの注意書きをしていなかったため、大量の観れない人が！



当日から再上演するための調整を開始

⇒**初回の失敗を活かして、各機関で意見調整し現在ふたたび周知活動中！**

参加者の感想（抜粋）

【肯定的意見】

- 認知症でも、笑顔が多くて素敵だった。
- 大変なことも多いと思うが、家族の愛情が大事なんだと感じた。
- 施設に入れられる事は人生の終わりだと思っていたが、互いに無理せず笑顔でいられるのならそれでも良いのかと思った。

【否定的意見】

- こんな夫婦ではないので、認知症になったら捨てられるだろう。
- 認知症になったら、あんな風にわけが分からなくなるのかと思うと恐怖を感じる。



活動の課題

町内会など小さい規模の啓発活動は大事

⇒市民全体が**どれだけ認知症に関心があるか**見えなくなる

規模の小さい活動と大きい活動、バランスよくやる事が大事

頑張る事は大事だが、推進員だけではダメ

⇒途中で**活動が破綻しないように**

協力してくれる「地域資源」を活用する事が必要



今後の活動

市民にとって分かりやすく、浸透しやすい啓発

⇒映画は**分かりやすい**が**費用が高い**諸刃の剣

当事者・家族の話は**分かりやすい**が**見つからない**

住民主体の支援体制を作るための下地づくり、そこにつながるような事業の企画・運営

⇒認知症サポーター養成講座・フォローアップで**GW**

小地域での予防活動などを**ネットワーク化**？

専門職の認知症理解の推進

⇒認知症の機序など**知識**・ロールプレイなどで**技術を向上**

できるだけ**実地的な**事例検討



全国の推進員の仲間へ

- 推進員に力がなくても問題なし！力がある人は必ず地域にいる（地域資源との連携）
- 色々な人と知り合って、やりたい事・必要と思う事をばら撒く（問題意識の共有）

やらないよりやってみる

楽しくやってみる

みんなでやってみる



ご清聴

ありがとうございました

千歳市 その他の活動例

追加資料

【1】自衛隊向け認知症サポーター養成講座

《経緯》

- ①千歳市ならではの認知症啓発は…？
⇒全道の推進員研修で他市から「自衛隊向け認サポしたい」
- ②千歳市は自衛隊が多い⇒千歳市で出来ないか？？
- ③石狩振興局に計画報告と協力の打診⇒振興局でも計画中！



協力して計画することに

《役割分担》

- 振興局…陸上自衛隊方面総監部に依頼
- 推進員…講座担当
- キャラバンメイト事務局…日程調整・資料準備



上記3団体で市内各駐屯地へ依頼

H29.4.6 東千歳駐屯地にて開催

170名以上の隊員が参加！！



市広報



北海道新聞



千歳民報

今後は…

- 航空自衛隊では、指導者育成教育の一環として予定
- 毎年定期的な開催を目標
- まだ実施していない駐屯地での開催を目標



【2】 小学校・福祉学習

- 社協・認知症の人を支える家族の会が主として小中学校を対象とした福祉学習を実施
- 家族会から推進員に⇒「保護者も対象に参加できないか？」
- 家族会の協力で興味・関心のある保護者に周知
- H29.11.27市内の小学校5年生2クラスで保護者参加型の高齢者疑似体験（家族会・推進員担当）と認知症サポーター養成講座（メイト担当）
⇒保護者が企画した学年レクとして開催



児童・保護者とも楽しんで参加

今後は…

- 今回開催した小学校での行事継続
- キャラバンメイトなどが関係する小中学校への開催拡大
- 教育委員会との連携・協働を目標



5年生福祉体験高齢者疑似体験 認知症サポーター養成講座

2017年11月14日(火)

自分の体なのに、
思い通りに動かせないのは
自由行動の人の
当たり前ではないんだな
と、体で知る時間は
とても貴重な経験でした。



※画像は千歳市内で別の日に行った福祉学習のものです。

【3】 介護・認知症予防ネットワーク

H28年度

①地域資源を調査

⇒病院・教育機関・老人保健施設で無料の介護予防・健康増進教室を開催していると判明。

②各教室の特長を把握

⇒各機関の利用者がおおむね異なっている

⇒どの機関も利用者が微減している



連携体制を構築して協力しては？？？

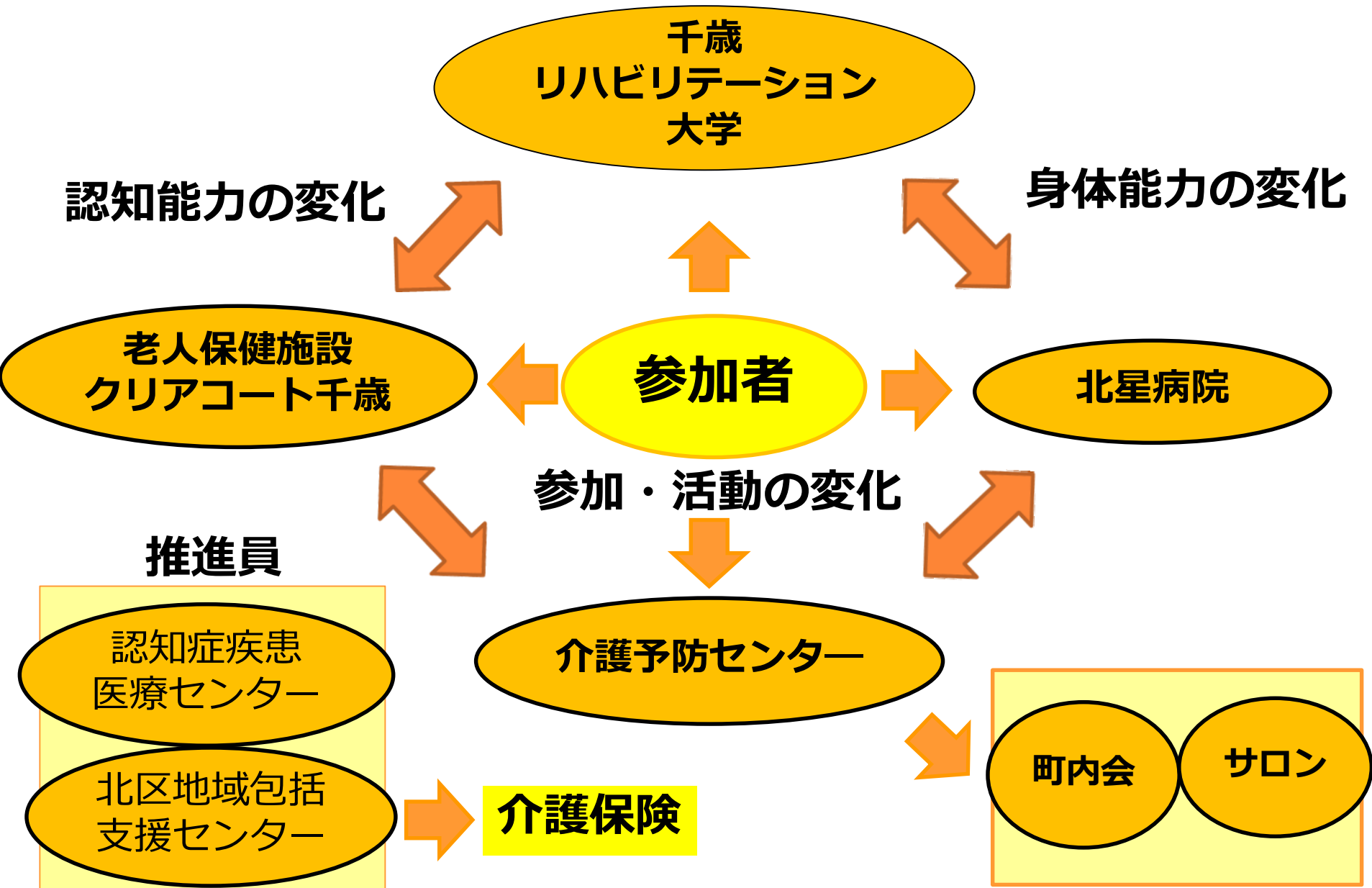
介護・認知症予防ネットワーク設立！



各教室担当者が集まり 課題・目的の共有

相互に活動を周知⇒全教室で参加者増加の成果

介護・認知症予防ネットワーク イメージ図



現在のひろがり

- 高齢者・認知症有病者の自動車運転・移動手段についての検討会（北海道）立ち上げに一部メンバーが参加
- 市全体で共通活用できる生活機能チェック・介入指標の検討
- ネットワークメンバーの多職種化（医療職・民間企業の取り込み）を望む声が…！



今後は…

- 介護・認知症予防で協働できる機関・企業の検討と協力打診
- 自動車運転に関する予防的活動・復帰対策・ケアなどでの事業展開を目標